

3 階ユニット

看護師長 高本京子

1 部門目標

子どもの「頑張る」を支える看護、子ども・家族を中心にしたチームによる継続的な支援

2 業務体制・スタッフ

小児科外来と小児科病棟（HCU4床を含む42床）の一元化ユニット

受け持ち制、固定チームナーシング、7対1看護体制

小児入院医療管理料1を取得

看護師44名、看護補助者3名、保育士3名

3 業務実績

平成29年度の1日平均患者数33.1人、病床稼働率78.8%、平均在院日数4.1日

死亡件数0人

昨年に比べ、1日平均患者数は1.5人増加、平均病床稼働率は3.7%増加、平均在院日数に変化はなかった

4 1年間の総括

トリアージ看護も開始して2年が経過した。トリアージ看護育成システムは軌道に乗りつつ有り、救急、トリアージ対応はより一層の質の向上と標準化を目指す時期に来ている。質の高いトリアージレベルを維持するためにも指導者を育成していく必要がある。学習会では小テスト、救急シミュレーション学習では評価スコア等で可視化を取り入れ、時間内で開催し、計画的・意欲的に行ってきたが、全スタッフが参加するには至っていない。学習会や救急シミュレーションを開催する目的や対象者を明確にし、全スタッフが看護の質を高められるようにしていきたい。

5 今後の目標

外来との一元化に伴い、チーム毎に役割を担うことにより、看護サマリーの充実、継続看護への意識はだいぶ高まってきている。しかし、医療ケアの必要な患児とその家族への支援は十分とは言えず、小児在宅医療の特徴をつかみ、適切な支援を行う枠組みを構築する必要がある。入院台帳、退院支援スクリーニングシートを運用していくことで更なる継続看護への意識を高め、看護の質を高められるようにしていきたい。

業務改善は進んできた、患児目線で子どもの権利や緩和ケア等、医療安全・感染対策など多方面からの情報収集やアセスメント能力を高めていく方法を検討したい。